Rotary

高田ロータリークラブ会報

2021～2022年度

Rotary Club of TAKADA Report

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

**ロータリーを学び、
ロータリーを広げよう**

高田ロータリークラブ
今年のスローガン

**利他の心をもって、
超我の奉仕を**

奉仕しよう　みんなの人生を豊かにするために

2021～2022年度
国際ロータリー会長　シェカール・メータ
2560地区ガバナー　高尾 茂典
高田ロータリー会長　中田 正
幹事　箕輪 賢一

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025)526-3288　FAX (025)526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025)526-3111

広報・会報・雑誌委員会：
齋藤祐介・星　則雄・西條英夫・猪股耐真男・鈴木陽一

第26回例会　2月18日(金)

No.24

会長挨拶　●中田　正

前回例会の挨拶で上越エリア出身の北京冬季オリンピックに参加する選手についてお話ししましたが、妙高市出身のスノーボード女子ハーフパイプの冨田せな選手が見事、銅メダルを獲得しました。また、妹の冨田るき選手が 5 位入賞を果たしました。本当におめでとうございました。そして本日この例会の時間からフリースタイル・スキークロスの関根学園出身の古野選手の試合が行われます。伸び盛りの若い力で活躍することをお祈りしております。

このような平和の祭典のオリンピックが開催されている中で、それとは真逆のロシア軍のウクライナへの侵攻の可能性が増しています。外交努力が成功し、紛争が起こらないことを心より望みます。

国内においては、新型コロナウイルスの感染者は増加していますが、ピークを過ぎた沖縄をはじめとする 5 つの自治体が、まん延防止等措置をこの 20 日で終了いたします。新潟県をはじめとする多くの自治体が 3 月 6 日までの予定です。この 3 月は、卒業、入学、就職、転勤などで多くの人が広域で移動します。3 回目のワクチン接種も進み、感染が落ち着くことを期待します。

最後になりますが、3 月に入りますとロータリーの活動も、次年度の髙橋年度始動に向けての準備が本格化します。委員長、副委員長など指名されましたら喜んでお引き受けいただければと思います。

本日の卓話は会員の東北電力ネットワーク株式会社上越電力センター所長の猪股耐真男さんからお話し頂きます。ご静聴お願いいたします。

出　席　報　告

96.23%

メイクアップ

吉田　巧君（2/5 米山奨学委員長セミナー）

ビ　ジ　タ　ー

長谷川寛様
（東北電力ネットワーク㈱上越電力センター総務課長）

セ レ モ ニ ー

米山功労者表彰：飯塚宏佳君、吉田　巧君

委員会報告

出席ニコニコ BOX
　霜村　浩君：SAJ スキー検定 1 級合格しました。
　　更なる上を目指して頑張ります。
社会奉仕委員会：3/24(木)オークションのご案内

幹 事 報 告

配布物：週報No.23
報告　：今後の例会について
　・2 月 25 日 祝日　振替休会
　・3 月 4 日・11 日　短縮例会
　・3 月 16 日　合同例会延期　・3 月 18 日　通常例会
　・3 月 24 日　オークション　・3 月 25 日　振替休会日

３月の例会プログラム（最新）

例会日	プログラム	会場
3月4日	卓話者　㈱岩の原葡萄園 企画部部長代理　今井圭介様 演題　コロナ禍での岩の原葡萄園のマーケティング	デュオ・セレッソ
3月11日	卓話者　新潟青陵大学 助教 村山和恵様 演題　未定	デュオ・セレッソ
3月16日	3クラブ合同例会(高田・新井妙高・高田東)　＜延期＞	
3月18日	卓話者・演題　未定	デュオ・セレッソ
3月24日	オークション	宇　喜　世
3月25日	振替休会日	

会員卓話

電気のこと、エネルギーのこと

東北電力ネットワーク上越電センター　**猪股耐真男君**

1.みなさまへ電気をお届けするために
　当社では，お客さまが安全かつ安心して電気をお使いいただけるよう，設備の巡視パトロールの強化，送配電ルートの多様化，無停電工事などを実施しています。
　特に，雪が降る前に電柱近辺の伐採や送電線の設備強化を行い，冬に備えてきました。また，停電が発生した場合でも，山間地の設備状況をドローンで確認したり，スマホによる速やかな情報把握をしたりして，早期復旧に努めています。

2.東日本大震災から 10 年経って
　当社は 2021 年 5 月に創立 70 周年を迎えました。また，2021 年は東日本大震災から 10 年という節目の年でもありました。大震災の復旧作業では，新潟県中越地震や中越沖地震での経験が活きました。
　当社は，この 10 年間，朝の来ない夜はない，との想いを共有し，災害からの復興に努めてきましたが，被災地の復興はまだ道半ばです。引き続き，お客さまによりそい，東北と新潟県によりそい，地域と共に歩んでいきたいと考えています。

3.最近のエネルギー事情
　国は 2050 年カーボンニュートラル（CN）を打ち出し，2030 年には温室効果ガス 46%削減を目指すとの方針を掲げました。
　一方，足下では化石燃料に頼らなければならず，燃料価格の高騰も相まってエネルギー事情は厳しいものとなっています。
　CN は，2050 年までの 30 年間で実現しようというものであり，当面は，再エネだけでなく火力電源なども上手く使いながら，バランスの取れた電源構成によりエネルギーセキュリティを確保していく必要があります。
東北電力グループでも CN に向けた取り組みを進めつつ，上越地域にある水力や火力など多様な電源を有効活用して電気の安定供給を果たし，上越地域に貢献してまいります。